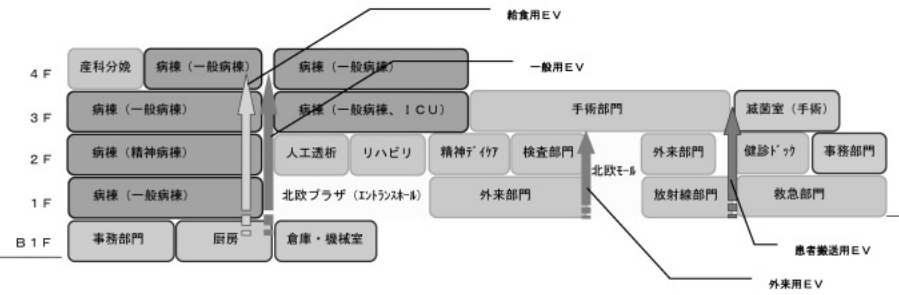


■階数

地上4階、地下1階、塔屋1階



■標榜診療科目数 21科

内科、呼吸器科、消化器科、循環器科、小児科、精神科、外科、整形外科、脳神経外科、心臓血管外科、産婦人科、眼科、耳鼻咽喉科、麻酔科、泌尿器科、放射線科、歯科口腔外科、神経内科、皮膚科、リハビリテーション科、形成外科

■病床数 320床

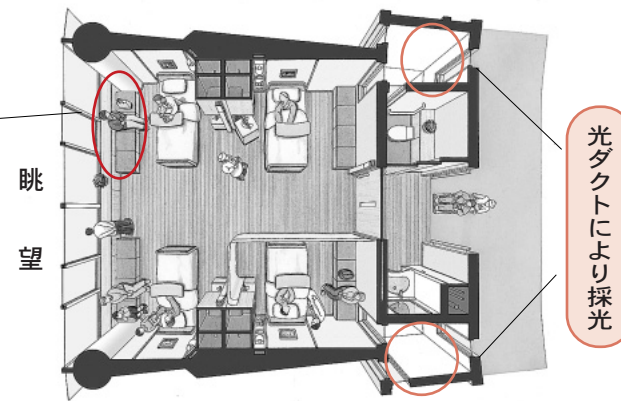
一般272床、精神40床、結核4床、感染症4床

■主な医療提供機能

救急医療体制、がん医療、リハビリテーション医療、精神医療、結核医療・感染症対策、地域医療支援病院機能、臨床研修指定病院機能、地域災害拠点病院、へき地医療拠点病院機能、人工透析治療、情報システム導入、健診センター機能

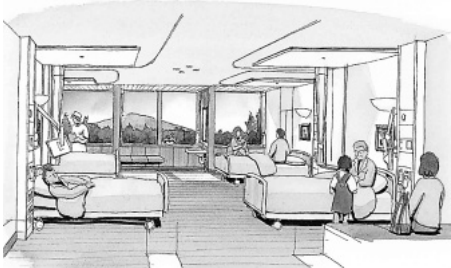
北秋田の気候に適応した快適な療養環境

家族の添い寝スペースにもなるファミリーコーナー（ベンチ下は収納スペースとして利用）



3F 4F 眺望もよくファミリーコーナーのある病室

3F：一般病棟、デイルーム、手術室など
4F：一般病棟、デイルーム、婦人科病棟など



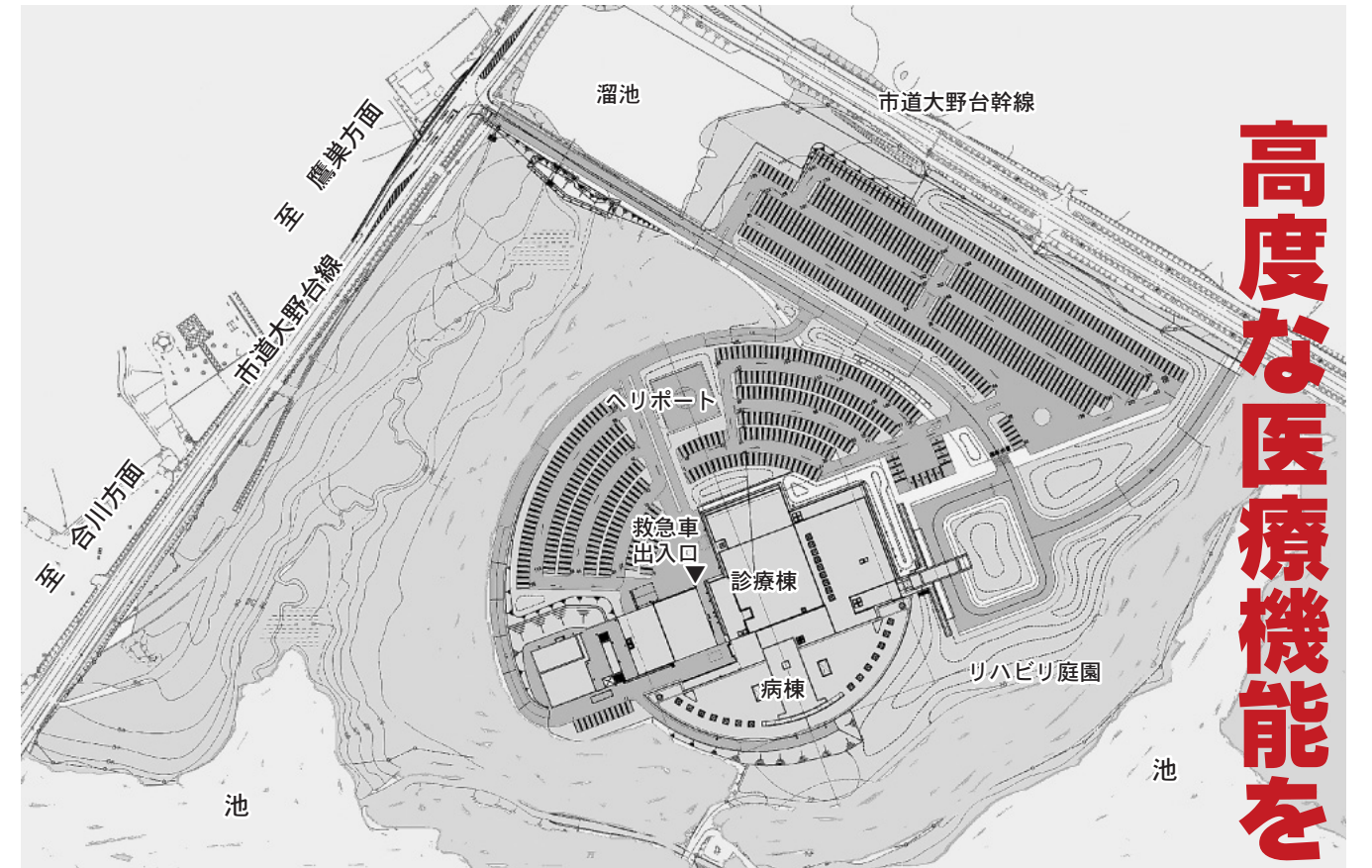
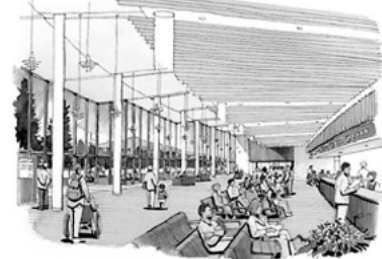
2F ハイサイドライトから自然光が入る明るい「北欧モール」

精神科病棟、外来部門（婦人科、泌尿器科）、精神科デイケア、リハビリテーション、小児療育、健診センターなど



1F 杉の間伐材を使用した温かみのある「北欧プラザ」

一般病棟、外来部門（内科、外科、小児科）、救急部門、放射線部門、レストランなど



高度な医療機能を備えた北秋田市民病院

平成21年10月「北欧の杜」に誕生

平成17年9月に策定した「北秋田市医療整備基本構想」の中核医療施設となる「北秋田市民病院」の本体工事が昨年12月、下杉字上清水の現地で始まりました。これからの地域包括医療体制を構築していく中で、専門的で高度な医療の提供を担っていく市民待望の病院として、21年10月のオープンを目ざしています。
鷹巣阿仁医療圏のみならず、県北地域の中核病院としての機能も持ち合わせている市民病院の施設と機能の概要についてお知らせします。

市内の医療機関では、人口減少など様々な要因により入院と外来患者数は減少傾向にあります。
北秋田市民病院は、既存の厚生連北秋中央病院、公立米内沢総合病院、市立阿仁病院の3病院の入院・診療機能を集約し、より専門的かつ高度な医療を提供できる新病院として整備します。これにより、鷹巣阿仁医療圏のみならず周辺市町村の中核病院と、保健・福祉事業や診療所等との機能分担と連携による一貫した地域包括医療体制を構築し、臨床研修機能、急性期医療、地域医療支援機能の役割を果たすことを期待されています。

所在地
北秋田市下杉字上清水沢

敷地面積 約12万㎡
建築面積 84,277㎡
延床面積 2万4,947㎡
建設費 88億7,456万8千円

